

『いまさら人に聞けない「中古車販売業」の経営・会計・税務Q&A』著者インタビュー

企業・団体 2016年09月16日

いいね! 4

G+1 0

ツイート

印刷

著者の酒井税理士に聞く

会社名:セルバ出版

自動車業界特化型税理士事務所OFFICE M.N GARAGEの酒井将人代表税理士が書き下ろした中古車販売業の実務に携わる方の必携書『いまさら人に聞けない「中古車販売業」の経営・会計・税務Q&A』がセルバ出版より発売された。

本書の出版を決意した最大の理由は「世の中に中古車販売業の実務に活用できる本、中古車販売店のために書かれた本が存在しなかったからです。私たちのところには、全国各地の「経営に行き詰まった中古車販売店の経営者の方」や「中古車の仕入販売の処理にお悩みの経理担当者の方」から数多くの相談や質問が寄せられており、そんな日々の経営や実務でお困りの皆様のパイプになればとの想いで書き下ろしました」と語る著者の酒井税理士に話を聞いた。(近藤厚志)

【本書の特長は】

「本書では、取引の仕組みの解説を行うとともに、直ぐ実務にお役立て頂ける様、仕訳処理や残高試算表の推移についても随所で紹介しています。また、解釈が難しい税務に関する論点については、記憶に残るよう、ただ結論だけを伝えるのではなく、実際の税務規定を紹介したあとに、その解釈についての解説を行う形式をとっていますので、中古車販売店を顧客に持つ会計事務所の担当者にも、参考頂ける内容になっています」。

【中古自動車販売店の会計上の注意点は】

「私自身、車が好きで、中古自動車販売店に勤務していたという経験もあり、業種業態に精通していたからこそ書けたといえます。自動車販売業は、お金の流れが複雑で、自動車税や自賠責、消費税、リサイクル料など様々な税金や費用が絡んできます。まず、これはお客様からいただいているお金なのか、それとも預かっているお金なのかを区別しなければなりません。特殊な業態なので、在庫管理や消費税などもしっかりと把握しておかないと、思わぬところで税の追徴などが発生して、極端な場合、税金が払えず倒産に追い込まれる事例も見てきました。利益がでているはずなのに税金が無いという事例も数多くあります。会計を税理士に頼んでいる経営者の方々の帳簿を見ても、正しく計算ができていない場合が多くあります。それは、自動車販売業は単なる小売業ではなく、サービス業としての側面もあり、複雑に税金が絡むからです。お金の処理が正しくできず、正しい計算ができていない場合、利幅や利益率も分からなくなります。正しい数字を導き出して、結果見えてきた現状をお伝えし、本当の課題が見えてくるのがよくあります」。

【Q&A方式ということですが】

「一見難しそうに見えますが、中古車販売業の実務は、仕組みを理解し、処理をパターン化することで、シンプルかつ効率的に行うことができます。本が苦手な方でも読みやすいQ&A方式を採用しました。中古車販売店における実務で役立つ全65項目をQ&A方式(1問1答形式)で分かりやすく解説しました。最初から読まなくても、どこからでも読めるように書かれていますので、気になった項目から、順次読み進めて頂くことができます。すぐに実務に役立てられるよう、実際の仕訳例や帳票などを数多く掲載しています。また、解釈が難しい税務的な論点については、実際の税務規定を紹介しながら、解りやすく、記憶に残りやすい解説を心掛けました」。

- 著者:税理士 酒井将人 著
- 単行本:A5判並製/192頁
- 出版社:セルバ出版
- 言語:日本語
- 発行:平成28年7月27日
- 定価:2300円(税別)



著者の酒井将人税理士

複数画像有

拡大

